

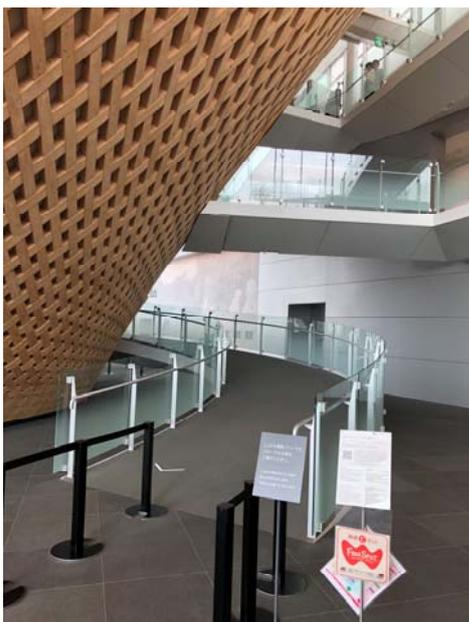
静岡県富士山世界遺産センター施設概要

静岡県富士山世界遺産センターでは、世界文化遺産「富士山－信仰の対象と芸術の源泉」に関して、「永く守る、楽しく伝える、広く交わる、深く究める」の4つの柱を事業としており、世界文化遺産富士山を後世に継承する拠点施設として、歴史、文化、自然など、国内外の多くの方に富士山を多角的に紹介していきます。



<1階アトリウム>

静岡県富士山世界遺産センター1階のアトリウムは、無料で利用できるスペースです。フロア内には、富士山ライブラリーやカフェ、ミュージアムショップがあります。有料展示ゾーンへは、逆さ富士型の内部へと続くスロープから入ることができます。



<パネル>

建築コンセプト

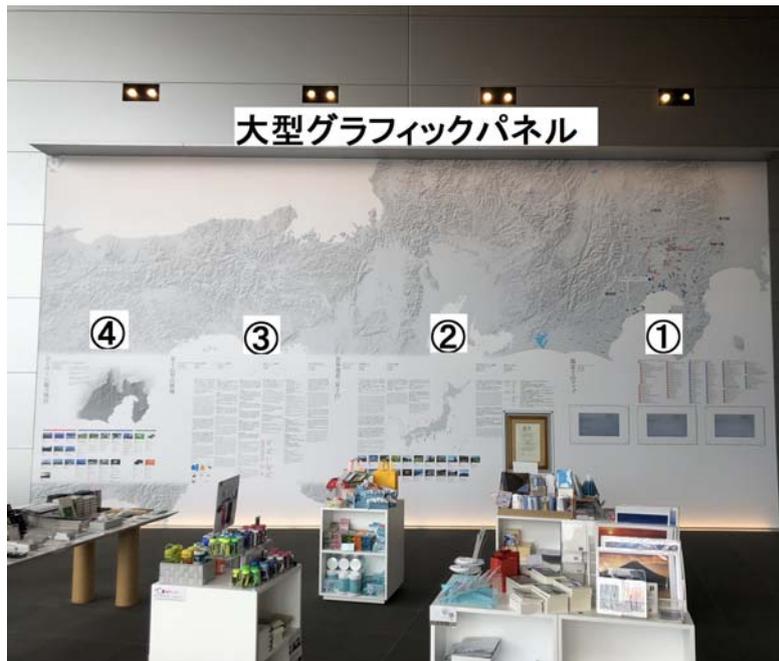
木格子の外壁を持つ“逆さ富士”形の建物が、前面の水盤に映り込むと、“富士山”の姿が現われます。水面に映る“富士山”は、“水の山”としての富士山を象徴的に表しています。

“逆さ富士”形の建物内部は、1階から5階まで緩やかならせんスロープで繋がり、斜路を登りながらスロープ展示を鑑賞することで疑似登山体験ができます。最上階(5階)の展望ホールまで登ると、大きなピクチャーウィンドウからは、刻々と表情を変える本物の富士山を一枚の絵のように鑑賞できます。

敷地には富士山からの湧水を引き込み、空調熱源として利用した後、それを建物前面の水盤に利用し、富士の水の循環を建築的にも表現しています。

＜大型グラフィックパネル＞

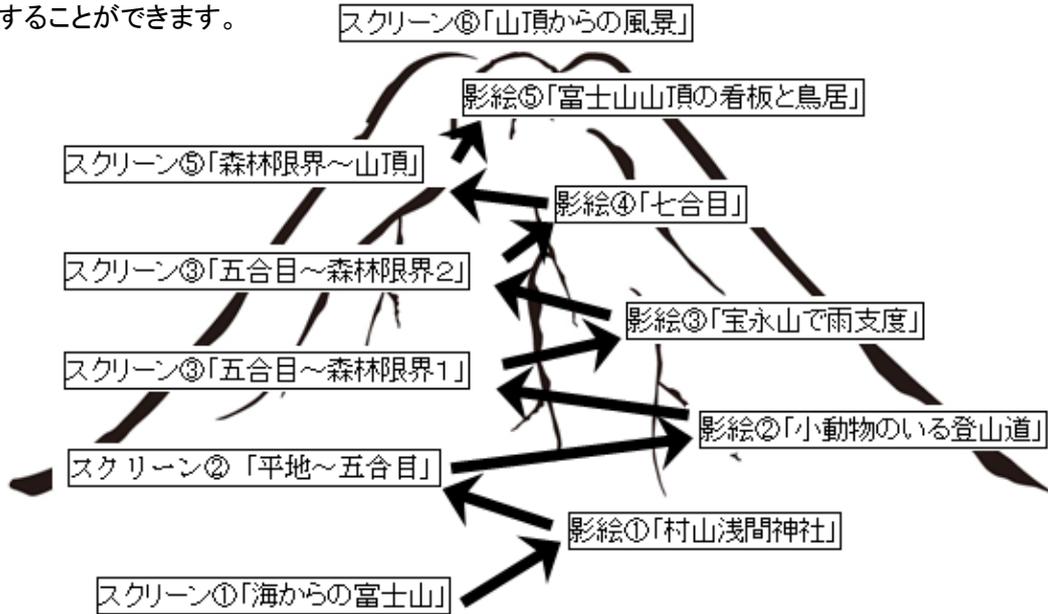
縦 5 メートル、幅約 10 メートルの大型グラフィックパネルでは、世界遺産・富士山と、それに関連する情報を解説します。



- ①環富士山マップ … 富士山を中心とした大型の地図上に、それぞれ色分けされた「構成資産・要素」「関連資産・霊場」「富士山関連施設」の番号が表示され、富士山との位置関係を把握することができます。タッチパネル式の情報検索機器には、それぞれの場所や施設の解説、所在地、アクセス情報、センターからの所要時間などが表示されます。
- ②世界遺産「富士山」 … 2013年6月、富士山は「富士山—信仰の対象と芸術の源泉—」という名称で、世界文化遺産に登録されました。このコーナーでは、世界遺産「富士山」について、その概要と世界遺産登録までの歩みを説明するほか、世界遺産認定証の複製も展示しています。あわせて、世界遺産制度を解説し、国内にある文化遺産・自然遺産を写真つきで紹介します。
- ③富士山登山情報 … 標高 3,000 メートルを超える富士山に登るためには、さまざまな備えや情報収集が必要です。ここでは、知っておきたい登山の基本情報や、安全・リスクに関わること、規制やマナーなどを、イラストを交えて解説しています。富士山の環境保全や登山者の安全サポートに使われる「富士山保全協力金」についても説明しています。
- ④ふじのくに魅力発信 … 静岡県には、富士山だけでなく、それ以外にも誇るべきものがたくさんあります。ここでは、富士山を望む景色がすばらしい 10 の場所をセレクトした「富士山ビュースポット」、ユネスコやギネス世界記録などの認定を受けた「世界クラス」、静岡県の生産物で全国トップを集めた「日本一」の 3 点から、ふじのくに・静岡県の魅力を紹介します。

＜登拝する山＞

タイムラプス映像を見ながらせんスロープ 193mを上ることで、静岡県の特徴である海からの富士登山を疑似体験することができます。



○スクリーン①「海からの富士山」

・日本平(静岡市) → 三保の松原(静岡市) → 大淵笹場(富士市) → 戸田港(沼津市) → 誓いの丘(小山町) → 道の駅 朝霧高原(富士宮市)

○影絵①「村山浅間神社」

○スクリーン②「平地～五合目」

・水ヶ塚公園(山体を望む) → 水ヶ塚公園(草本層の明るい林床) → 村山古道(コケ層の明るい林床) → 須走口登山道五～六合目(礫の登山道・草本層の明るい林床) → 村山古道(礫の登山道・コケ層の暗い林床) → 水ヶ塚公園(草本層の暗い林床)

○影絵②「登山道(小動物:シカ・リス・ムササビ)」

○スクリーン③「五合目～森林限界1」

・須走口登山道五～六合目(風衝カラマツ) → 須走口登山道五～六合目(駿河湾を望む) → 須走口登山道五～六合目(霧のかかる山頂方向を望む) → 宝永山(雲海を望む) → 富士宮口五合目(山頂方向の山小屋を望む夜景) → 宝永山荘前(富士市方向を望む夜景)

○影絵③「宝永山・雨支度」

○スクリーン④「五合目～森林限界2」

・宝永山荘前(朝日) → 宝永第一火口縁(火口と宝永山を望む) → 宝永第一火口縁 → 宝永第一火口内(植物のまばらな荒原) → 宝永山山頂(山頂方向の山小屋の灯を望む夜景) → 富士宮口五～六合目間(夜景)

○影絵④「七合目」

○スクリーン⑤「森林限界～山頂」

・富士宮登山道七合目付近 → 富士宮登山道八合目付近 → 富士宮登山道六～七合目付近 → 富士宮登山道六～七合目付近(夕景) → 富士宮登山道九合目付近 → 富士宮登山道九合目付近

○影絵⑤「↑富士山山頂の看板と鳥居」

○スクリーン⑥「山頂からの風景」×6

<展望ホール>

<ピクチャーウィンド>

地上から14メートルの高さになるこのフロアには、富士山の方角に横10メートル、高さ3メートルの窓があり、刻々と表情を変える富士山の姿をまるで一枚の絵を見るように鑑賞できます。



<パネル>

富士山の可視範囲 … 富士山を見ることができる場所は、全国20都府県に広がります。ここでは、富士山遠望確認の歴史とともに各地から見た富士山を紹介します。

ふるさと富士 … 日本列島のほぼ中央に秀麗な姿を見せてそびえる富士山への憧れから、全国各地に“富士”と名のつく「ふるさと富士」が400座以上知られています。ここでは、日本国内や世界各国にもある“〇〇富士”を紹介します。

<荒ぶる山>

地中のマグマが地上に噴出して火山となります。

富士山は、約300年前を最後に噴火していませんが、まだ若く活発な活火山です。35,000年にわたる富士山と人類の歴史を紹介します。

<触れる地球+プロジェクター映像+タブレットPC>

①地球の中の富士山 … 地球科学的にみた日本と富士山の特質を、デジタル地球儀を使ってダイナミックなプレートの動きや大陸移動の様子も交えて解説します。



<裸眼3Dモニター>

②日本列島の運動と富士山 … 西之島や伊豆大島など、伊豆・小笠原の火山島が列をなして北上する、その先端に富士山が形成される様子を3Dモニターでご覧下さい。

<プロジェクター映像(アニメーション)>

③富士山のおいたちと人の歴史 … 最初は箱根山より小さかった“富士山のもと”が、度重なる噴火で溶岩の上塗りを重ね、現在の高さに成長する様子をご覧下さい。富士山と人の関わりにもご注目ください。

＜聖なる山＞

富士山への信仰をキーワードに、富士山のもつ普遍的な価値について、紹介していきます。

＜モニター＋タブレット PC コンテンツ＞

- ①日本の自然観 … 日本人は古代から自然を信仰の対象として崇拝してきたことを紹介します
- ②遥拝する富士山 … 大鹿窪遺跡などの縄文時代の遥拝の痕跡、山宮浅間神社、富士山本宮浅間大社などから富士山遥拝を紹介します。
- ③富士山の神と仏 … 富士山の祭神である浅間大神、かぐや姫、大日如来、木花開耶姫命を紹介します。
- ④富士山と修験道 … 村山修験、富士峰修行、諸国への広がりを紹介します。
- ⑤登拝する富士山 … 各登山道のルート、各拠点の宿坊や御師住宅の道者帳から見る道者の分布を紹介します。
- ⑥八葉九尊 … 富士山へ登拝(とはい)する道者(どうしゃ)の目的地、富士山頂の世界観を表しています。山頂は禅定(ぜんじょう)と呼ばれ、八葉九尊の諸仏(しよぶつ)が鎮座する仏教的な曼荼羅(まんだら)の世界として捉えられていました。
- ⑦富士山頂の信仰世界 … 富士山頂の信仰について、江戸時代以前から現在にかけての状況について紹介します。
- ⑧遥拝する富士山 … 富士講、御師住宅、八海めぐり、外八海めぐり、御中道、富士塚を紹介します。
- ⑨民俗行事の伝承 … 海と富士山、富士山と講組織、今も続く富士山信仰の祀りについて紹介します。



＜原寸大レプリカ＋タッチモニター＞

- I. 富士曼荼羅の世界 … 「絹本着色富士曼荼羅図」の構図を紹介します。

＜モニター＞

- II. 富士と生きる … 今も富士山への信仰を守り、伝える人々が日本各地にいます。その中から、三重県伊勢市東豊浜町土路(みえけんいせしひがしとよはまちょうどろ)地区の宮本富士講、三重県志摩市阿児町志島(みえけんしましあごちょうしま)地区の総垢離(そうごうり)、静岡県富士市岩淵地区の鳥居講を紹介します。



＜タッチモニター＞

- III. 世界の山岳信仰分布図 … 世界各地の代表的な山岳信仰の例を紹介します。

＜美しき山＞

富士山の姿は、日本の文学・絵画・工芸・芸能の作品のテーマとして数多く取り上げられ、その影響力は海外にまで及んでいます。「芸術の源泉」としての富士山の魅力を紹介します。

＜モニター＋タブレットPC＞

- ①美の源としての富士山 … 富士山にまつわる文学・絵画・芸能・工芸、さらに海外の芸術に与えた影響などを紹介し、美の源としての富士山について解説します。
- ②富士山文芸百科 … 美しく神秘的で、時に荒ぶる山・富士山は、古から数多の文学を生み出してきました。ここでは、「富士山のうた」「富士山の物語」「富士山の芸能」「富士山と近・現代の文学」の4項目から富士山文芸の魅力を紹介します。
- ③伝説と富士山 … 古来、人々は、富士山に不思議な力を感じ、畏れ敬い、さまざまな物語を語り継いできました。ここでは「伝説の舞台 富士山」と「ふじさん」の名前の2項目から、富士山にまつわる伝説や富士山の名称について見ていきます。
- ④海の外から見た富士山 … “芸術の源泉”として海外にまで強い影響を及ぼした富士山。ここでは、富士山をめぐる言語・視覚イメージがいかに海外と関係してきたかに尽いて概観していきます。
- ⑤富士山絵画、型の推移と意味 … 日本を代表する視覚イメージとして知られる富士山。ここでは富士山絵画を代表する主題や構図を抽出したうえ、その変容をたどり、各主題に内在する意味をひもときます



＜タッチモニター … ピンチ(画面上の二本指を広げる)することで画面の拡大ができます＞

描かれた富士山 … 150 作品を超える富士山にまつわる絵画を、一同にご覧いただくことができます。
狩野派(約 42 枚)、江戸琳派(約9枚)、浮世絵版画(約 17 枚)、文化画(約 10 枚)、
関東南画(関東文人画)(約 14 枚)、南蘋派・洋風画(8枚)、やまと絵(7枚)、
肉筆浮世絵(約 15 枚)、写生画(約6枚)、富士山登山図(約 11 枚)、奇想の画家(約5枚)

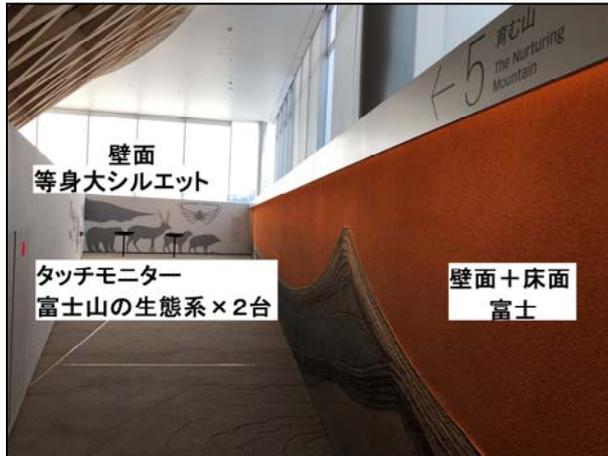
＜センターコア壁面＋プロジェクター＞

描かれた富士山 … 原寸大の絵画が、オートリピートで投影されます。

＜スクリーン＋プロジェクター＞

富士山を舞う … 古典芸能においても、富士山は重要なモチーフです。ここでは、ユネスコ無形文化遺産「能楽」に表現された富士山について、「富士山」「生贄」「羽衣」の三つを取り上げ、伝説の物語と舞によって構成される能の世界を紹介します。

<育む山>



富士山に降り注ぐ雨や雪は地中に染み込み、長い時間をへて地表や海中へも湧き出して、多くの生命を支えています。富士山の高山帯から駿河湾までの生態系を紹介します。

<壁面+床面>

富士 … 富士山の地層と背景の空、駿河湾の海底地形を表現するこの壁面と床面の左官は、左官技能士の挟土秀平(はさどしゅうへい)氏により仕上げられています。造作には顔料は使用せず、すべて天然の土の色合いによるグラデーションです。富士山の背景の空は、赤土が使われています。

<タッチモニター>

富士山の生態系 … 富士山は、駿河湾の海底から測ると、6,000m を超える高山です。山頂の雪や雨は地面に染み込み、海底からも湧き出しています。この水が、さまざまな生命を支えています。ここでは、駿河湾(-2,500~0m)、裾野(0~500m)、樹林帯(500~2,500m)、高山帯(>2,500m)の生き物の特徴を紹介します。

<壁面>

等身大シルエット … 富士山が育む生態系には、ミツクリザメやツキノワグマなどの大きなものから、オコジョやヒミズなどの小さなものまで、さまざまな動物が生息しています。それら生き物を等身大のシルエットで紹介します。

<壁面 標本・レプリカ・写真>

富士山の自然環境 … 富士山の自然環境は、そこに生息する生き物による生物的環境と、富士山の噴火活動によって形成された非生物的環境によって成り立っています。そこに生息する生き物や、土台となっている岩石・地層などを、ふじのくに地球環境史ミュージアムの協力により、実物(標本)や実物大(レプリカ・写真)で紹介します。

<床面 埋め込みモニター>

湧水映像 … 豊かな水は、富士山の大きな特徴です。海から蒸発した水は、山の頂(いただき)で雪や雨となり、山肌に染み込んで、何年もかけて山腹や山麓、さらには海底からも湧き出します。この水の循環が、高山帯から駿河湾の海底まで、多くの命を支えています。ここでは、浅間大社の湧玉池と、近年発見された海底湧水の映像を紹介します。

＜受け継ぐ山＞

富士山には、登山する山・活火山・心のよりどころとしての山・芸術のテーマになる山など、さまざまな顔がありますが、富士山と私たちの未来についても考えてみましょう。



＜地層標本＞

宝永噴火の地層剥ぎ取り … 1707(宝永4)年12月16日(旧暦11月23日)の宝永噴火は2週間ほどの短期間に多量の堆積物をもたらしました。この剥ぎ取りは、湯船城跡遺跡の耕作面の上に堆積していた実物の地層です。

宝永噴火による堆積物 … 宝永噴火によって富士山上空へあがったテフラ(火山活動による噴出物のうち、溶岩を除く火山灰や軽石、スコリア、火砕流やサージなど)は、偏西風により東方へ流されましたが、特に小山町や御殿場市一帯の御厨と呼ばれていた地域に多量に堆積し、復旧を困難なものとなりました。

＜タッチモニター＞

次の噴火の影響を探る … 地質学的には、富士山の歴史は比較的新しく、火山活動はかなり活発といえます。ここでは、「宝永噴火とは」、「富士山噴火被害予測」、「世界の火山」について、噴火が人間の生活にどのような影響を与えるかを中心に考えていきます。

人々の心に根付く富士山 … 私たちは毎日どこかで富士山を見ているのではないのでしょうか？ここでは私たちの日常生活に偏在し、ときにその意識下に忍び心性を支配する、富士山のもう1つの側面に光を当てます。

＜未来への取り組み＞

富士山は今、多くの課題を抱えています。それに対するさまざまな取り組みが行われています。「引き出し」を引いて、現在の富士山の姿をのぞいてみてください。そして、富士山の今とこれからを一緒に考えてみましょう。

＜富士山へのメッセージ＞

富士山型のカードに富士山へのメッセージを書いて、机の投入口に入れてください。お寄せいただいたメッセージを掲示して、富士山への想いを共有させていただきます。



＜富士塚＞

富士塚とは、富士山を模して作った人工の小山や塚のことです。屋外展示スペースには、＜育む山＞壁面を造作した挟土秀平氏制作による、オリジナルの富士塚モニュメントを造作しました。利用した溶岩石は、国土交通省富士砂防事務所の協力により、砂防事業を行う大沢扇状地から採取しています。

<映像シアター>

265インチの大画面に4Kの高精細映像を投影し、富士山を「体感」する番組を上映します。富士山の美しい自然が堪能できる「天の巻」、世界文化遺産富士山の信仰と芸術を知る「地の巻」の2種類を用意しています。

「天の巻」では、富士山の四季・移りゆく自然の姿や、ドローンによる空撮映像で富士山の表情を描き、年齢を問わず富士山の存在感を体感できます(毎時00分・30分、上映時間7分)。「地の巻」では、自然の営み・火山としての富士山が、畏怖の対象から聖なる山・信仰の対象となり、現代にも残る修験者の姿を通して「裾野から頂上まで」の登拝、遥拝する環境を体感できます(毎時15分・45分、上映時間8分)。

観覧席は72席のほか、車椅子スペース(2台分)と補助席2席があります。立ち見や途中入場はできず、各回ごと入替制となっています。



<企画展示室>

広さ約140㎡、国宝や重要文化財の展示も可能な設備を持った展示室です。年数回開催される展示会では、最新の研究成果をわかりやすく伝えるものや、県内外の関連機関と連携した企画展示を開催します



※引率の先生方へ(お願い)

館内では、展示物の保護・湿度管理等のため、鉛筆以外の筆記用具(ボールペン・マジック等)の使用、5F展望ホール以外での飲食、傘や濡れたものの持込みが禁止されています。児童・生徒の皆さんへの御指導をお願いいたします。